

追跡! あ的一般質問 どうなった?

令和5年発行(第110号から第113号)の議会だよりに掲載された一般質問が、その後町政にどう反映されたのか、質問した議員が追跡調査を行いました。



▲議会だより110号
(2023年2月発行)



▲議会だより111号
(2023年5月発行)



▲議会だより112号
(2023年8月発行)



▲議会だより113号
(2023年11月発行)



学校教育

遠山 優太 議員
2023年11月発行
フットサム113号 掲載

問 学校におけるエアコン設置の考えは

子どもたちの熱中症等による健康被害を未然に防止することや、災害発生時に地域の避難場所としての環境改善に向けて、小・中学校にエアコンを設置するべきでは。

答 早期の設置を検討

現在、小・中学校の教室等に約24か所設置した場合の費用と、国の補助金を調査中であり早期に設置できるようしたい。

追跡!

小・中学校に エアコンを設置

今年8月までに、小学校の15か所、中学校の9か所に空調設備設置工事を実施した。



▲快適な環境で勉強を受けることができました

※ P. 16にエアコン設置状況のチェックについて関連記事を掲載



農業

池澤 哲也 議員

2023年11月発行
ワットサム113号 掲載

問 農地及び農業用施設の災害復旧は

令和5年6月下旬から8月上旬にかけて発生した大雨により、農地及び農業施設に被害が発生した。

スピード感を持った災害復旧が必要となるが、被害内容及び復旧状況は。

答 必要な補正予算を提案する

特に8月5日から6日にかけての大雨は、121.5ミリを記録し、農地の冠水や浸水、排水の埋塞や農道の洗掘、法面崩落などが発生した。

農地・農業用施設災害復旧事業補助は当初予算の300万円を大幅に超える見込みとなり、今後必要な補正予算を提案したい。

追跡！

700万円の補正予算 で災害復旧

申請のあった災害復旧事業の概算事業費は9件で959万円となり、当初予算300万円、補正予算700万円を計上、合計1,000万円の災害復旧事業予算を計上し、復旧事業費に対して80%の補助を行い、それぞれ復旧工事は完了した。

しかし具体的な予防対策については示されておらず、今後更なる要望・提案をして行く。



▲大雨で畦が崩壊した田んぼ



住環境

村岡 敏一 議員

2023年5月発行
ワットサム111号 掲載

問 空き家・空き地の現状把握と課題は

空き家は自然災害による倒壊・害獣のすみか等、地域全体に深刻な影響を及ぼす。

空き家等の特別措置法が成立後、町の責務として情報把握とデータベース整備が努力義務とされた。

現状把握による課題と有効活用の考えは。

答 不動産マッチング支援サイトを研究

過去に町単独で危険家屋解体支援事業を3年間実施。

特別措置法に関わる計画策定や協議会設置ができるのかも含め、近隣町村の事例や不動産マッチング支援サイトなどの研究もしていく。さらに、空き家や空き地の有効活用で移住・定住促進ができるよう情報発信していく。

追跡！

更に制度の PRに努める

令和6年4月に和寒町空き家等対策計画を策定し、関係各課が連携した検討委員会で情報共有と対応策などを協議することとした。

今年度から固定資産税の納税通知書に空き家・空き地バンクを紹介するチラシを同封しPRを行い、データベースの整備も進めている。

空き家の有効活用には所有者からの申し出が必要だが、申出件数が伸びていない現状のため、制度のPRに努めていく。



▲ライダーハウスへの整備が待たれる成約物件



学校教育

小野田 久美子 議員

2023年11月発行
ワットサム113号 掲載

問 学校の女子トイレに生理用品設置を

急に生理が来ても大丈夫という安心感のために誰でも気軽に使えるよう、和寒小中学校の女子トイレの個室へ生理用品の設置への考えは。
(2021年9月下旬条元議員の再質問)

答 保護者の意見も含め学校と相談する

現在は、保健室に生理用品を常備して必要な児童に対して個別に配布している。

保健室を利用することで、生理用品が買えない、単に忘れたなどの把握や健康状態を知ることができ、教育的な機会となっている。

本町でも今までの取り組みを活かしつつ、トイレにも設置できないか、保護者の意見を含め、学校と相談する。

追跡！

中学校は女子トイレの個室に生理用品設置

小学校は、発達段階において生理用品を使用する児童に差があり、高学年のみが対象となるトイレがないので設置しない。



▲生理用品が設置され急に生理が来ても安心



高齢者福祉

窪田 裕二 議員

2023年2月発行
ワットサム110号 掲載

問 特養施設建て替えの考え方は

ここ数年、特養施設の老朽化に伴う建て替えや運営方法など、議会と共に議論してきた。

奥山町長も3期目の公約では、建て替えも挙げているが、近年の大雨などを踏まえ、現状の場所は避けるべきと考えるが。

答 危険な場所は避ける

平成30年度に「高齢者福祉施設整備構想調査」を実施した。

その結果、一体的に整備した場合、延床面積5,000㎡、敷地面積10,000㎡以上が必要。

今後、高齢者施設以外の機能も複合的に検討していく場合、内容によっては用地の面積にも大きく影響することから慎重に議論が必要と考える。

追跡！

防災観点からも別の場所に

近年、要介護認定者や障がい者など要配慮者が利用する施設を新たに整備する場合は、入所者の安全確保のため、災害リスクの少ない土地へ立地をすることが示されている。

現在施設がある場所は、100年に1度程度の降雨で浸水する可能性があり、盛り土で対応するには相当な費用負担があるため、複数の候補地を比較検討した結果、建設予定地に選定した。



▲今後大きな注目を集めると想定される予定地



児童福祉

酒向 勤 議員

2023年 8 月発行
フットサム112号 掲載

問 保育所のオムツの持ち帰りは

使用済みオムツの持ち帰りが家庭の負担になっているが、保育所へ通われている乳幼児の健康等を把握するために持ち帰るオムツは、ほかのごみと一緒に入れて保管するなど非衛生的な状況だ。

持ち帰りの必然性の再確認、処理ボックスの設置など行えないか。

答 保管場所の確保や費用を前向きに検討

保護者が児童の排泄状況や一日に利用した量を把握するために持ち帰っていただいていた。

また、保育所ではごみの収集日まで大量になり、保管場所の確保が難しい状況があった。

今後、保護者の意見を踏まえ、保管場所の確保や処分費用も含めた検討を進める。

追跡！

保育所でも処分

現在すでに対応しており、少し負担が減ったとの声がある。

当時、厚生労働省から認可保育所における使用済みオムツの処分を推奨する内容の通知が配布されていたこともあってスムーズに対応したと思う。

今後も微弱ながら子育てしやすい町づくりに努める。



▲保護者の負担が減って助かります



行財政

石田 利美 議員

2023年 5 月発行
フットサム 111号 掲載

問 第6次総合計画の新たな取り組みは

令和5年度予算案の第6次総合計画推進は。

答 令和5年度の事業を執行しながら検討

生活環境では道路新設及び若草団地公営住宅解体工事・リサイクルセンターのトイレ水洗化。産業振興では新規就農者確保、育成事業に取り組む。保健医療では診療所の質を向上させる。教育文化では教員住宅の解体、今までの支援事業を継続し、東山スキー場設備更新を計画的に進める。財政は、ふるさと納税返礼品の特産品のPRを行う。令和5年度の予算編成では財源確保に困難を極め、多額の基金を取り崩さざるを得なかった。

追跡！

多額の基金繰入金が続いている

生活環境では、ごみの有料化になり一般廃棄物最終埋立処分場の延命になった。

産業振興では、令和6年は新たに2名の地域おこし協力隊が着任した。

保健医療では、維持費がかかるのでCTを売却した。

教育文化では、教員の指導方針で子どもの学力向上につながった。

財政では、令和5年度繰入金決算額3億7,352万円、令和6年度予算額は4億5,438万円。今後、民設民営のふくしのまちづくりでの繰入金で財政が懸念される。

